

物理チャレンジ2007

第1チャレンジ

100名選抜

第2チャレンジ

応募受付期間：2007年4月1日(日)
～4月20日(金)

実験課題レポート：5月31日(木)締切り

自宅で作成

理論問題コンテスト：6月10日(日)

全国約50会場で実施

会期：2007年7月29日(日)～8月1日(水)(3泊4日)

会場：筑波大学ほか(茨城県つくば市)

プログラム：●理論問題チャレンジ(5時間)

●実験問題チャレンジ(5時間)

●ノーベル物理学賞(1973年)受賞

江崎玲於奈先生 講演

●科学者・研究者との物理を通じた交流イベント

●研究施設見学 など

第1チャレンジ
参加者
募集



イラスト：はやのん

「物理チャレンジ2007」は大学等に入学する前の青少年の皆さんを対象として、物理の持つ面白さと楽しさを体験してもらうことを目的とする全国的な催しです。また、国際物理オリンピック日本代表の道へ続いています。さあ、今年はあなたもチャレンジしてみませんか。

物理チャレンジは、まず各地の大学・高校において全国一斉に行う理論問題コンテストと、自宅や学校で実験を行いレポートを郵送で提出する実験課題で構成される「第1チャレンジ」があり、次に第1チャレンジにより選抜された100名が夏休みに参加する合宿形式の「第2チャレンジ」から構成されています。(詳しくはホームページ<http://www.phys-challenge.jp/>をご覧ください)

●参加資格

「物理チャレンジ2007」に参加できるのは、次の①と②の条件を満たしている皆さんです。

- ①2007年4月1日現在、満20歳未満であること。
- ②第2チャレンジ開催時(2007年7月29日)に高等教育機関(大学・短期大学または高等専門学校第4・5学年)に在籍していないこと。
※年齢の下限はありません。中学生以下でも参加することができます。また、国籍も問いませんが、出題と解答は日本語に限定します。

●参加申し込み方法

「物理チャレンジ2007参加申込書」に必要事項を記入し、2007年4月1日(日)から4月20日(金)までの間に「物理チャレンジ・オリンピック日本委員会事務局」宛に郵送してください(4月20日当日消印有効)。参加申し込み者には、4月末に受付票と実験課題を自宅宛に送付します。(参加申込書は、募集要項またはホームページから入手することができます。)

●第1チャレンジについて

第1チャレンジ理論問題コンテストは、全国一斉(2007年6月10日)に約50会場で実施します。問題は、従来の応募問題(*)よりも平易な問題(多肢選択問題、穴埋め問題、記述式問題などを含む)とします。また、理論問題コンテスト会場には各自1冊に限り参考図書(教科書、参考書等)を持ち込むことができます。

第1チャレンジ実験課題は、参加を申し込まれた皆さんに郵送でお送りします。身近なものでできる課題実験を自宅や学校で行い、期日(5月31日当日消印有効)までに実験課題レポートを郵送で提出してください。
(※理論問題コンテスト会場および過去の応募理論問題、実験課題などについて詳しくはホームページをご覧ください。)

●参加費

「物理チャレンジ」の参加費は無料です。ただし、第1チャレンジでの参加申し込みおよび実験課題レポート提出の郵送料、ならびに第1チャレンジ理論問題コンテスト会場および第2チャレンジ会場までの往復交通費は自己負担となります。

参加申し込み

お問い合わせ

物理チャレンジ・オリンピック日本委員会事務局

〒102-0091 東京都千代田区北の丸公園2-1 科学技術館内

FAX: 03-3212-7790 E-mail: physchal@jsf.or.jp

ホームページURL: <http://www.phys-challenge.jp/>

- 主催：物理チャレンジ・オリンピック日本委員会
共催：日本物理学会、応用物理学会、日本物理教育学会、日本生物物理学会、電気学会、日本機械学会、茨城県、茨城県教育委員会、つくば市、つくば科学万博記念財団、筑波研究学園都市交流協議会、筑波大学、茨城大学、岡山県、岡山量子科学研究所、岡山大学、理化学研究所、日本科学技術振興財団
特別協賛：科学技術振興機構
協賛：東京電力、東レ、日立製作所、NTT、東芝、松下電器産業、三菱重工業、Z会
協力：宇宙航空研究開発機構、高エネルギー加速器研究機構、産業技術総合研究所、岩波書店、シュプリンガー・ジャパン、丸善
後援：文部科学省、朝日新聞社、日本経済新聞社、毎日新聞社、読売新聞社、NHK(以上予定含む)